

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

人権尊重の精神を基調として心身共に健康な児童の育成を目指し、自他の大切さを認め、人権課題について学び、権利と義務、自由と責任についての認識を深める。また、児童の未来に生きて働く力を培うため、主体的・対話的で深い学びを通して、基礎的な知識や技能の習得と、これらを活用できる思考力・判断力・表現力を養い、すすんで学びに向かう力と人間性を培うこと目指して、教育目標を定める。

◎よく考える子（重点目標）…自ら考え、主体的に学ぶ子ども

○思いやりのある子 …互いを尊重し、思いやりのある言動をとることができる子ども

○健康で明るい子 …心身ともに健康で、活力のある子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 確かな学力の定着（主体的・対話的で深い学びの実現）

- (ア) 児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、児童自身に自己の課題を考えさせ、「ICT 活用マニュアルに基づいたタブレット端末の効果的な活用」によって個別最適化された学びと共に協働学習を推進する。
- (イ) 持続可能な社会の創り手に必要な資質・能力の育成に向けて、持続可能な開発目標（SDGs）と関連付けた各教科の学習の推進を行うとともに、校内研修や自己申告・学年会・OJTに基づく研修等を充実させる。
- (ウ) 学校図書館の整備・言語活動の充実に努め、体験的・問題解決的な学習を重視することにより、児童の興味・関心を高め、自主的に学習に取り組む意欲や態度の育成を図っていく。
- (エ) 児童の発達段階を踏まえ、個に応じた指導を充実させるとともに、「昭島市立学校教育のユニバーサルデザイン」を活用し、全ての児童にやさしい授業づくりを推進しながら、児童の学習習慣の確立を図る。

イ 豊かな心の醸成（健全育成・人権教育の推進）

- (ア) 「特別の教科 道徳」の指導を要として、全ての教育活動を通して人権尊重の精神を培う。また、地域と連携したボランティア活動等を行うことで、社会に対する子どもたちの問題意識を醸成する。
- (イ) 東京都教育委員会いじめ総合対策【第2次・一部改定】を受け、学校いじめ防止基本方針に基づいた「いじめ防止対策の確実な実施・早期発見・早期解消」に向けて、いじめ防止アンケートの取組、生活指導部会や学校いじめ対策委員会、特別支援教育コーディネーターを中心に取り組む。また、SOSの出し方に関する教育を行う。
- (ウ) 関係機関、SC及びSWと連携しながら、様々な問題を抱える児童及び保護者への対応を行う。また、特別支援教室「大空」を中心に、特別支援教育校内委員会、学校生活支援シート、個別指導計画を活用し、特別支援教育を推進する。さらに、特別支援教室の巡回指導拠点校として、個に応じた支援が充実する体制を確立するとともに、副籍交流及び共同学習を通し、インクルーシブ教育の推進を図っていく。

ウ 健やかな体の育成（健康教育・安全教育の推進）

- (ア) 生涯にわたって健康に生き抜くために、「元気アップガイドブック」を活用し、「グッドモーニング60分」を実施する。また、体力調査の結果を活用し、運動や体を動かす遊びに親しむ能力・態度を養うとともに、自他の安全（日常・災害時）に配慮して行動しようとする意識を育てる。
- (イ) 組織的な指導体制の下、基本的な生活習慣の確立を図り、担任と養護教諭による保健指導、がん教育、栄養教諭による食育を通して、児童自ら健康の保持・増進のために努力する姿勢を励まし、家庭との連携を図る。
- (ウ) アレルギー疾患対応マニュアルに基づいた食物アレルギー事故防止を徹底する。
- (エ) 新しい学校生活様式に基づく新型コロナウイルス等感染症対策の実践と、充実した教育活動を両立させる。

エ 輝く未来に向かって（開かれた学校の推進）

- (ア) 家庭訪問・個人面談を実施するとともに、児童及び保護者アンケートや学校関係者評価を活用し、開かれた学校経営を推進する。また、教育活動についての情報発信に努め、家庭・地域社会と連携・協力を深める。
- (イ) 小中連携教育を進めるために小中連携の日を設定し、情報共有・共通理解を行って連携を深めていく。
- (ウ) 「日本の伝統・文化に関する教育」や「オリンピック・パラリンピック教育」を生かしたレガシー教育の取組の継続し、国際社会において活躍できるグローバルな人材の育成を図る。
- (エ) キャリア・パスポートを効果的に活用し、一人一人のキャリア形成と自己実現に向けた活動を推進する。

2 指導の重点

(1) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

- (ア) 思考力・判断力・表現力を育むために、各教科で話し合い活動や対話・読み・書くといった言語活動の充実を図るとともに、タブレットPCやデジタル教科書などを活用して「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。
- (イ) 学年で協力授業や習熟度別ガイドラインに基づいた習熟度別指導等を展開することにより、個に応じた指導の充実に努め、学力調査等の結果を分析・活用して、家庭と連携しながら確かな学力の定着を図る。また、授業改善推進プランの作成、サタデースクール、放課後・夏季休業中の補習を行い、低位層の児童の学力を伸ばす。

イ 道徳科

- (ア) 「特別の教科 道徳」を要とし、自然や伝統を生かした豊かな体験活動を通して道徳授業の一層の充実を図り、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
- (イ) 道徳教育推進教師を中心に教科書を活用した授業展開を工夫するとともに、道徳授業地区公開講座をはじめ、学校・家庭・地域が一体となって豊かな心を育てることができるよう連携を深める。

ウ 外国語活動

- (ア) 英語教育中核教員を中心に興味・関心を高めるような題材や活動などによる指導を工夫し、児童が積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- (イ) 外国語の音声やリズムに慣れ親しませるとともに、ALTや異なる文化をもつ人との交流から異文化理解を深めさせる。

エ 総合的な学習の時間

- (ア) 各教科等の学習成果を生かすとともに、集団宿泊活動・学校行事との関連を図り、様々な課題に対して主体的な問題解決に取り組めるよう意図的・計画的に指導を進め、発表会を通して成果の評価を行う。
- (イ) 情報モラル教育を推進し、パソコンやタブレット端末を活用したり、実社会・実生活の中から問いを見付けたりして、探究的な学習に主体的・協働的に取り組み、横断的・総合的な学習を実践していく。

オ 特別活動

- (ア) 児童相互のコミュニケーションを重視した学級活動の中で児童の自主性や実践力を育て、「東小まつり」や「たてわり遊び」、お弁当の日や学校行事等を通して異学年間の交流を深め、豊かな人間性を育てる。
- (イ) 児童会活動の一環として、緑の募金やユニセフ募金を通し、社会問題への関心を高め、実践的な態度を育てる。

(2) 特色ある教育活動

ア 学校生活支援シート・個別指導計画に基づいた指導を行いつつ、児童の課題克服を目的として、特別支援教室「大空」やSCと連携しながら、個の実態や個のニーズに応じた特別支援教育を行う。

イ 箏の演奏・米作り等の日本の伝統・文化に触れる体験で日本のよさを学び、外部人材の活用で地域学習・国際理解教育・防災教育・法教育等の体験活動を充実させる。

ウ 学校図書館の活用を推進し、調べる活動を通して言語能力の向上に努める。漢字検定を計画・実施し、児童が家庭学習の取組の1つとして漢字検定の合格を目指すようにする。

エ カードを活用した「元気アップ週間」や「歯の健康週間」を設定し、学校全体で保健・健康指導を行い、学校保健委員会や保健だよりを通して保護者にも啓発しながら生涯にわたる健康づくりの基礎となる態度を培う。

オ オリンピック・パラリンピック教育を継承した学校のレガシーとして「東ンピック」を継承する。

カ 食育の推進を通して、心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について判断、選択する能力を身に付けさせる。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- (ア) 基本的生活習慣、規範意識（社会のルールの遵守）、セーフティ教室・薬物乱用防止教室・防災ノート・東京マイン・タイムラインを活用した防災教育・交通安全指導等を通して、自らの健康と安全にも留意して自他の生命を尊重する態度の育成を図る。
- (イ) SC、家庭や地域、関係機関との連携を深め、生活指導全体では学校いじめ防止基本方針の確認とともに、教育相談体制を整え、いじめや不登校及び問題行動を未然に防止し、望ましい人間関係づくりに努める。また、年2回の学級満足度調査の実施により、学級の人間関係を的確に把握し、学級経営に生かす。
- (ウ) 自殺予防教育として、自殺予防推進委員会（東京都教育委員会）によるDVD等を活用した授業を行う。

イ 進路指導

- (ア) 各教科等の学習や宿泊行事等を通して、児童が自分自身の特性を生かせるようにするために、児童の自尊感情や自己肯定感を高めつつ、可能性に気付かせ、自分らしい生き方をしていこうとする態度や能力を育てる。
- (イ) 中学校の授業参観・合唱祭見学・部活動体験等の活動を通して、小中連携教育の視点をもって推進していく。また、地域の就学前教育施設との幼保小連携を目指すとともに、スタートカリキュラムを計画・実施する。
- (ウ) PTA行事やウィズユースの地域行事等で、多くの方々と触れ合う中で、自分の将来について考える機会にする。

3 学年別授業日数及び授業時数の配当

[illegible]

領域		学年	1	2	3	4	5	6
各 教 科	国語		309 1/6	317	247	248 1/2	179	177
	社会				71	91	101	106
	算数		138	177	177	177	177	177
	理科				91	106	106	105 1/2
	生活		103	106				
	音楽		69	72	62	62	52	54
	図画工作		69	71	61	61	50	50
	家庭						60	55
	体育		102	106	106	107	91	93
	外国語						70	70
小計			789 1/6	849	815	852	886	887 1/2
道徳科			35	35	35	35	35	35
外国語活動					35	35		
総合的な学習の時間					70	70	70	70
特別活動	学級活動		36	36	36	36	36	36
総計			860 1/6	920	991	1028 1/2	1027	1028 1/2
備考	・1単位時間は、45分とする。 ・クラブ活動は、原則1単位時間を60分とし、委員会のない月曜日の6校時に年間11回実施する。 ・児童会活動は、原則毎月1回、月曜日の6校時に行う。(全11回)							

第4表の1

学校名 昭島市立東小学校

学校行事

月		4		5		6		7		8		9	
曜・行事 日	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	
1	金		㊦		水	ふれあい月間始 安全指導	金	安全指導 学校公開終	月		木	始業式	
2	土		月	安全指導	木		㊦		火		金	給食始 避難 訓練	
3	日		㊦	憲法記念日	金	体力・運動能力調査	㊦		水		㊦		
4	月		㊦	みどりの日	㊦		月		木		㊦		
5	火	春季休業日終	㊦	こどもの日	㊦		火		金		月	安全指導	
6	水	始業式・入学式	金	離任式	月		水		土		火		
7	木	定期健康診断始 安全指導	㊦		火		木		日		水		
8	金	給食始	㊦		水		金		月	学校閉庁日	木		
9	㊦		月	お弁当の日	木	移動教室(5)始	㊦		火	学校閉庁日	金		
10	㊦		火		金	移動教室(5)終	㊦		水	学校閉庁日	㊦		
11	月		水	学級満足度調査	㊦		月		木	山の日	㊦		
12	火		木		㊦		火		金		月		
13	水	避難訓練 給食始(1)	金	遠足(1・2)	月	水泳指導始	水		土		火		
14	木		㊦		火		木	避難訓練 自殺予防(5)	日		水	小中連携の日	
15	金		㊦		水	小中連携の日	金		月		木		
16	㊦		月		木		㊦		火		金		
17	㊦		火	避難訓練	金	避難訓練	㊦		水		土	学校公開 道徳授業地区公開講座	
18	月	1年生を迎える会	水		㊦		㊦	海の日	木		㊦		
19	火	全国・学力学習 状況調査(6)	木	集団下校	㊦		火	給食終 水泳指導終	金		㊦	敬老の日	
20	水		金	芸術鑑賞教室	月		水	終業式	土		火		
21	木	交通安全教室(1)	㊦		火		木	夏季休業日始 夏季補習教室始	日		水		
22	金		㊦	移動教室(6)始	水		金		月		木		
23	土	学校公開 セーフティ教室	月		木		土		火		㊦	秋分の日	
24	㊦		火	移動教室(6)終	金	学校公開	日		水		㊦		
25	月		水	振替休業日(6)	㊦		月	夏季補習教室終	木		㊦		
26	火		木		㊦		火		金		月		
27	水		金		月		水		土		火		
28	木	遠足(3・4)	㊦		火	学校公開始	木		日		水		
29	㊦	昭和の日	㊦		水		金		月		木		
30	㊦		月		木	ふれあい月間終 定期健康診断終	土		火		金		
31			火				日		水	夏季休業日終			

第4表の2

学校名 昭島市立東小学校

月	10		11		12		1		2		3	
曜・行事 日	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事
1	(土)	都民の日	火	ふれあい月間始 安全指導	木	安全指導	日	元日	水	安全指導	水	安全指導
2	(日)		水		金	学校公開終	月	振替休日	木		木	6年生を送る会
3	月	安全指導	(木)	文化の日	(土)		火		金		金	お別れ球技大会(5・6)
4	火		金	社会科見学(4)	(日)		水		(土)		(土)	
5	水		(土)	東京都教育の日	月		木		(日)		(日)	
6	木		(日)		火	薬物乱用防止教室(6)	金		月		月	
7	金		月	就学時健康診断	水		(土)	冬季休業日終	火		火	
8	(土)		火		木		(日)		水		水	避難訓練
9	(日)		水		金	社会科見学(6)	(月)	成人の日	木	小中連携の日	木	
10	(月)	スポーツの日	木	避難訓練	(土)		火	始業式	金		金	
11	火	避難訓練	金	音楽会(6)	(日)		水	給食始 避難訓練	(土)	建国記念の日	(土)	
12	水		(土)		月	避難訓練	木		(日)		(日)	
13	木		(日)		火		金		月		月	
14	金		月	就学時健康診断	水		土	学校公開	火		火	
15	土	運動会	火		木		(日)		水		水	
16	(日)		水		金		月	安全指導	木	英語村体験(6)	木	
17	(月)	振替休業日	木		(土)		火		金	避難訓練	金	
18	火		金		(日)		水		(土)		(土)	
19	水		(土)		月		木		(日)		(日)	
20	木		(日)		火		金		月		月	給食終
21	金	社会科見学(3)	月		水	給食終	(土)		火		(火)	春分の日
22	(土)		火		木	お弁当の日	(日)		水	学校公開始	水	お弁当の日
23	(日)		(水)	勤労感謝の日	金	終業式	月		(木)	天皇誕生日	木	修了式
24	月		木		(土)		火		金		金	卒業式
25	火		金	学習発表会	(日)		水		(土)		(土)	春季休業日始
26	水		土	学習発表会	月	冬季休業日始	木		(日)		(日)	
27	木	小中連携の日	(日)		火		金	社会科見学(5)	月		月	
28	金	生活科見学(1・2)	(月)	振替休業日	水		(土)		火	学校公開終	火	
29	(土)		火	学校公開始	木		(日)				水	
30	(日)		水	学級満足度調査 ふれあい月間終	金		月				木	
31	月				土		火				金	